

「はこだて医療・介護連携サマリー」を知っていますか？

○ 導入の背景

「切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築」にあたり、医療・介護連携に係る課題を抽出し、解決に向けた協議を順次進めていくための基礎資料とするため、平成27年度に、市内の介護事業所に対し、函館市が行ったアンケート調査では、

- 1 回答のあった**83%**の事業所が、「多職種連携を進めるには、情報共有のための『システム』や『書式』が必要」と回答しました。
- 2 しかし、実際に、「すでにそういう仕組みを使っている」と回答したのは**17%**でした。

この結果を受け、函館市医療・介護連携推進協議会では、有識者等による「情報共有ツール作業部会」を設置のうえ、情報にバラツきの無い、地域で統一された情報共有ツールの必要性を検討し、「はこだて医療・介護連携サマリー」を作成しました。

○ 活用のメリット

① 職種が違っても、共通の様式を用いて情報共有できる。

- ・ 「どこに何を書けばいいのか」や「どんな情報を共有すればいいのか」が明確になり、業務の効率化や時間の短縮が可能となります。
- ・ 患者・対象者の評価に関する基準や視点が統一されることにより、関係者間で共通理解が図りやすくなります。

② 必要に応じて便利な応用ツールが使える。

- ・ 対象者の基本情報を入力する「基本ツール」のほかに、「褥瘡管理」、「認知症管理」といった「特別な医療等」に関する19種類の「応用ツール」を用意しております。
- ・ また、「本人の意向を尊重した意思決定支援のための情報」という応用ツールの誕生により、ACPに関する情報共有も可能です。

③ 介護サービスに役立つフェイスシート版がある。

- ・ 介護関係者等からの要望に基づき、介護サービス計画書作成の前提として備えなければならない「課題分析標準項目」のうち、「基本情報に関する項目」を網羅する様式として活用できるよう「フェイスシート版」を作成しています。

④ 「ID-Link」と組み合わせると、さらに業務負担が軽減できる。

- ・ 医療・介護関係者が情報共有できるICTシステム「ID-Link」を活用し、エクセル形式のサマリーで情報をやり取りすることにより、内容の更新が簡単になり、関係者の業務負担の軽減につながります。

○ ダウンロードはこちらから↓↓

【R7.3.28更新】はこだて医療・介護連携サマリー、及び各種マニュアルのダウンロードについて | 函館市医療・介護連携支援センター (<https://x.gd/Pb6Aq>)

